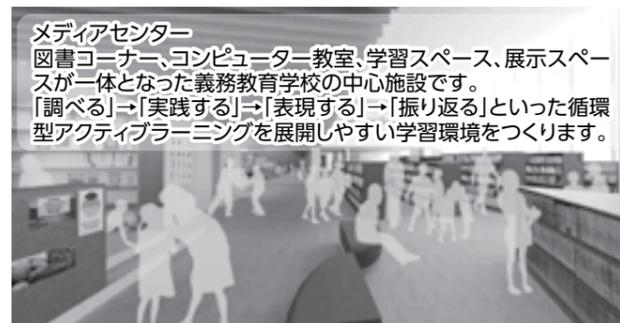
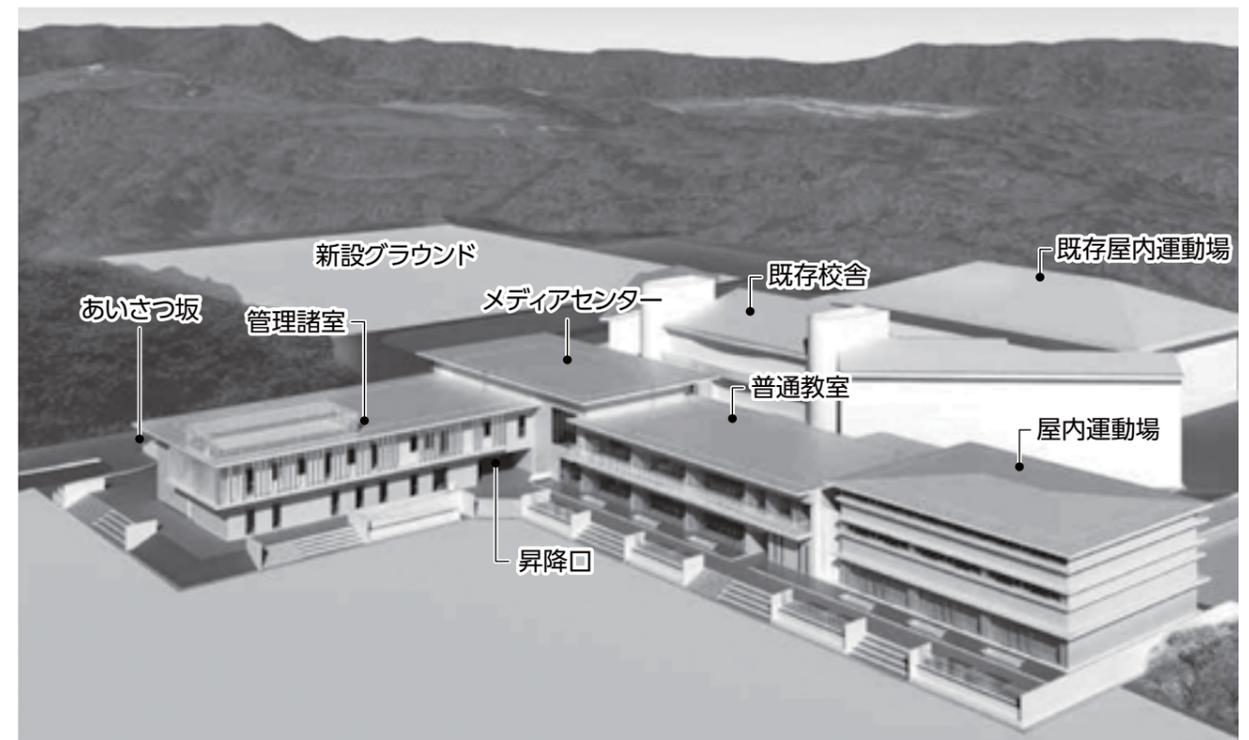


# 「国東市義務教育学校」の基本設計がまとまりました

国東の豊かな自然と歴史の中で、未来の夢を育む出会いと成長の学び舎を創ります。



メディアセンター  
図書コーナー、コンピューター教室、学習スペース、展示スペースが一体となった義務教育学校の中心施設です。  
「調べる」→「実践する」→「表現する」→「振り返る」といった循環型アクティブラーニングを展開しやすい学習環境をつくります。

■正門からのアプローチイメージ

■メディアセンターイメージ

## 建築概要

	校舎	屋内運動場	計
建築面積	1,997.28㎡	450.90㎡	2,448.18㎡
延べ面積	3,461.92㎡	450.90㎡	3,192.82㎡
階数	2階	1階	
構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造(屋根架構:木造)	
昇降機設備	1機	-	

○今後、実施設計で施設の詳細を決定していきます。また、施設以外のカリキュラム、学校行事PTAの組織などについては、7つの部会で検討していきます。

【問合せ先】教育総務課 ☎0978-73-0066

## 平成29年度 コミュニティバス・コミュニティタクシー

### 「おでかけ号」の利用状況をお知らせします



国東市では、路線バスの運行が無い地域で皆さんのおでかけを支援するため、コミュニティバス・コミュニティタクシー「おでかけ号」を運行しています。

運行は週に1日、谷間の集落と町の中心部を往復しています。片道100円の乗車運賃で、どなたでもご利用いただけます。

平成29年度(平成29年4月～平成30年3月)の利用者数は、コミュニティバス・コミュニティタクシーの合計で、10,584人でした。平成28年度の利用者数は10,697人でしたので、1年間で133人の減少となりましたが、コミュニティバスの利用者は前年度と同人数の9,400人でした。

バスやタクシーなどの公共交通は、利用する人がいなければ走ることができません。また、高齢者や子どもなど、自動車を運転しない人にとっては、なくてはならない交通手段です。大切な公共交通を将来にわたって維持するために、公共交通機関を利用しましょう。

### ●コミュニティバス

(平成29年4月～平成30年3月の乗車数の集計)

運行区域	運行曜日	路線名	平均乗車数 (対前年度同期比)
国見町・国東町	月	熊毛・長瀬線	2.7人 (▲0.1人)
	火	大熊毛・小熊毛線	2.6人 (0.4人)
	水	鬼籠・櫛海線	3.0人 (▲0.9人)
	木	櫛来線	6.3人 (▲0.7人)
	金	向田・浜陽線	14.2人 (▲1.9人)
	月	深江・寺山線	8.2人 (▲0.5人)
	火	堅束線	9.7人 (1.6人)
	水	赤松線	11.0人 (1.4人)
	木	小原線	2.6人 (0.4人)
	金	治郎丸線	2.0人 (0.1人)
武蔵町・安岐町	月	山口線	3.0人 (▲0.9人)
	火	油留木線	4.8人 (1.9人)
	水	志和利線	6.9人 (0.8人)
	木	小城線	0.4人 (0.3人)
	金	吉松線	6.1人 (0.3人)
		松ヶ迫・小ヶ倉線	8.1人 (▲0.7人)
全路線 平均			5.7人 (±0.0人)

### 公共交通をお使いいただくために…

路線バスや「おでかけ号」の路線図・時刻表が載った「公共交通総合時刻表」を作成し、お配りする予定です。今年度の時刻表は、市内すべての地域が載った冊子版になっています。

### ●コミュニティタクシー

(平成29年4月～平成30年3月の乗車数の集計)

運行区域	運行曜日	路線名	平均乗車数 (対前年度同期比)
国見町	水	小高島線	0.9人 (▲0.1人)
	金	種田線	1.7人 (▲0.2人)
国東町	水	高良線	3.5人 (▲0.1人)
武蔵町	水	狭間線	1.7人 (▲0.1人)
安岐町	木	橋上線	1.6人 (▲0.1人)
	金	小俣線	2.1人 (▲0.1人)
全路線 平均			1.9人 (▲0.1人)

\*「平均乗車数」は、朝に町の中心部に向かう下り便と、正午前後に町の中心部を出発する上り便との1往復で算出しています。

【問合せ先】政策企画課 ☎0978-72-5161

## 3つのコンセプト

### ① 次の時代を生き抜く力を育む未来志向の学校

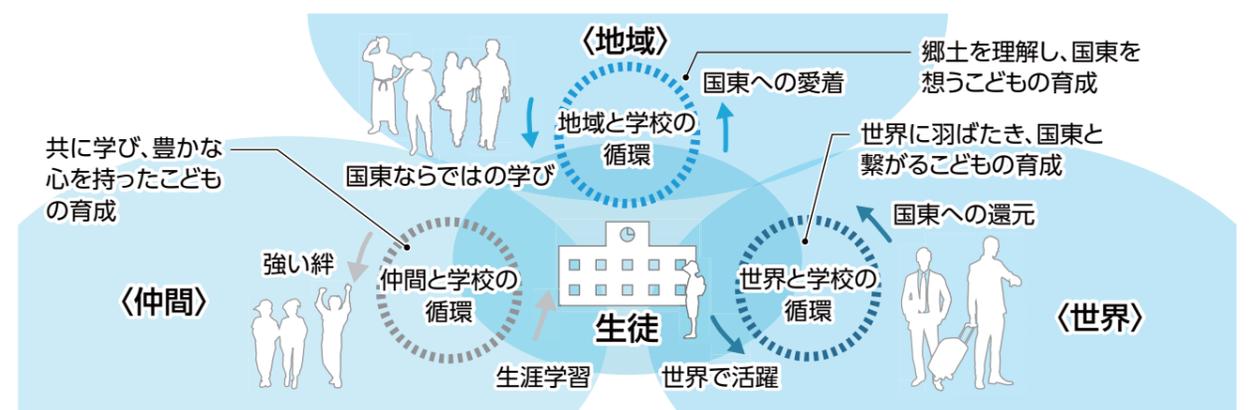
知識・外国語スキル・情報スキル等の「基礎力」を養うと共に、2020年からの学習指導要領の改訂も視野に、ICTを積極的に活用したアクティブラーニングを通して「思考力」・「実践力」といった次の時代を生き抜く力を育む未来志向の学習環境をつくります。

### ② 共に学び、共に成長するみんなの学校

先生と生徒の話し合いや生徒同士のグループ学習を通して、みんなとともに活動する喜びを感じ、お互いに刺激を受けながら成長できる学習空間をつくります。異学年との出会いが日常的に生まれる空間をつくり、下級生は上級生を目標に、上級生は思いやりや優しさなど豊かな心を育みます。

### ③ 国東への愛着と誇りを育む生涯の学校

教職員、家庭と地域、地域企業などが協働して生徒の学びを支えるコミュニティスクールとします。放課後「学びの教室」やコミュニティ菜園、農業体験、伝統文化などを通じて、地域とともに学び、国東への愛着と誇りを育む生涯の学校とします。



■学びのつながりが生む好循環